

2. スポーツ

(1) スポーツとは

一定のルールが定められた競技スポーツだけでなく、区民の年齢、性別、障害の有無や体力等に左右されることなく、誰もが健康づくりのほか、仲間同士の交流やストレス解消等を目的としたウォーキングやレクリエーションなどの気軽に楽しむことのできる活動等もスポーツととらえます。

(2) 現状と課題

①区民の意識と行動

区民の週1日以上の実施率は54.9%。前回調査※2（38.4%）時より増加しています。

過去1年間にスポーツを実施しなかった理由をみると、「仕事が忙しい」が35.8%と最も多く、次いで「家事・育児・介護などが忙しい」が25.9%となっています。

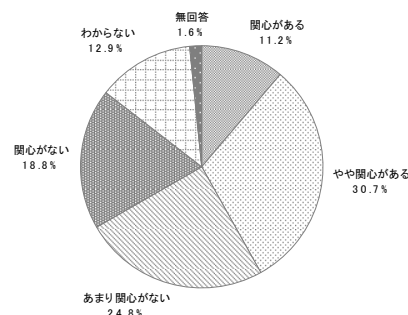
障害者スポーツに「関心がある」が41.9%（「関心がある」と「やや関心がある」の合計）となっており、東京都（59.2%）と比べて低くなっています。

週1日以上の実施率

対象	割合
今回調査	54.9%
前回調査	38.4%
国	55.3%
都	57.2%

障害者スポーツへの関心

(N=750)

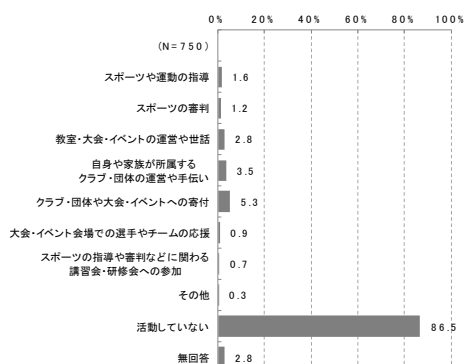


②スポーツの楽しさを知る機会の創出

ライフステージ・スタイルに応じて、すべての人がスポーツの楽しさや価値を実感できる取り組みを進める必要があります。

「見る」「支える」スポーツ環境のさらなる充実に向け、ボランティアへの区民参加の促進やスポーツ指導者の養成等を進めることにより、担い手の安定的な確保と技術向上や知識の深化が必要です。

スポーツや運動を支える活動の参加状況



③スポーツに関する情報の発信と 相談体制の整備

求める人に適切なタイミング、方法でスポーツに関する情報を提供する工夫が必要です。

障害者スポーツ教室は、周知先を再考し、障害者スポーツに関心がある層に確実に情報を届ける必要があります。

多様なライフスタイルに合わせ、いつでもどこでもスポーツに親しめるよう、動画の配信等も求められています。

④プロスポーツ等団体との連携・協力

東京 2020 大会に向けて高まってきたスポーツへの関心が、一過性のものにならないよう、引き続き関係団体と協力し、障害者スポーツの普及や理解の促進等が必要です。

区民がボランティア参加で培った「支える精神」や、ホストタウン事業を通じて深められた国際理解なども大会終了後もレガシーとして継承できるよう取り組んでいくことが必要です。

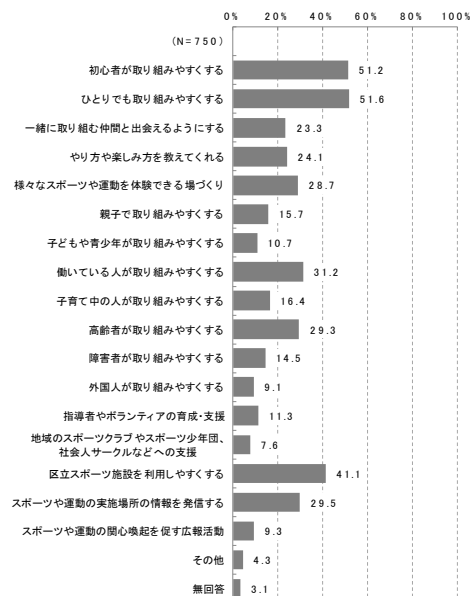
⑤スポーツを通じた交流の促進

年齢や障害の有無等に関わらず、誰もがスポーツに親しめる機会を提供するとともに、世代間交流や地域間交流の促進と地域コミュニティの活性化に取り組んでいくことが必要です。

共生社会の実現に向けて引き続き、大学や企業等の各競技団体と地域特性を活かした連携を促進するほか、障害者が自主的に取り組める環境整備が必要です。

障害者スポーツをユニバーサルスポーツへと昇華させるため、種目や魅力の紹介、体験機会の充実等、誰もが一緒に楽しめる機会の提供に取り組んでいくことが必要です。

文京区でスポーツや運動を実施する人が増えるために、区がより力を入れるべき取組の視点



現状と課題のまとめ

- ①区民の意識と行動
- ②スポーツの楽しさを知る機会の創出
- ③スポーツに関する情報の発信と相談体制の整備
- ④プロスポーツ等団体との連携・協力
- ⑤スポーツを通じた交流の促進

(3) 施策体系の考え方

スポーツは、個人の心身の健康の保持・増進だけでなく、人と人、地域と地域の交流を促進したり、地域のコミュニティを醸成したり、新たな文化にふれるきっかけになるなど、人々が健康で豊かな生活を送るために大きな効果をもたらします。

本計画では、スポーツという概念や活動を広くとらえ、スポーツを「する」人だけでなく、プロスポーツ等団体やアスリートによる競技種目等を「見る」人、指導者やスポーツボランティア等の「支える」人、そして、スポーツを通じた仲間づくりといったスポーツのもつ力に着目し、区民一人ひとりの生活がより健康で豊かなものとなる取組を進めていきます。

(4) 施策体系

スポーツ分野の施策体系は次の通りです。

基本方針	施策
①だれもがスポーツを身近に感じる機会の拡充	ア スポーツの楽しさを知る機会の創出
	イ ユニバーサルスポーツの普及振興
	ウ スポーツ観戦の場と機会の拡充
	エ スポーツボランティア等の活動支援
②いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくり	ア 気軽にスポーツを楽しめる環境の整備
	イ スポーツに関する情報の発信と相談体制の整備
	ウ スポーツを楽しむ人を増やす事業の展開
	エ スポーツ指導者等の育成と確保、技術の強化
	オ 心身の健康づくり
③スポーツの力を活用した地域づくり	ア スポーツを通じた仲間づくり
	イ プロスポーツ等団体との連携・協力
	ウ レガシーの継承と活用
	エ 人材・組織(町会・地域クラブ)との連携・協働
	オ スポーツの魅力を体感する機会の充実

(5) 基本方針と施策の方向性

①だれもがスポーツを身近に感じる機会の拡充

年齢、性別、国籍、障害の有無、ライフスタイルや興味・関心の度合い等に関わらず、だれもがスポーツを身近に感じ、「する」機会を拡充していきます。

また、「見る」スポーツを通して関心を持ち、楽しさを知るきっかけを充実していくとともに、「支える」スポーツへも積極的な参加を促し、ともに楽しむ機会を充実していきます。

ア スポーツの楽しさを知る機会の創出

スポーツを身近に感じて取り組むにはまず、スポーツの楽しさを知ることが重要だといえます。年齢や技術に関わらず区民のだれもが気軽にスポーツを体験できる機会を充実し、スポーツに興味を持ち、始めるきっかけや継続するための取組を推進します。

■主な事業（既存事業から抜粋）

事業名	概要
初心者向けスポーツ教室	区民が気軽にスポーツを体験できる各種初心者向けスポーツ教室を開催する。
小・中学生向けスポーツ教室	子どもたちの心身の健全な育成とジュニアスポーツの振興を図るため、スキー、ローラースポーツ等のスポーツ教室を開催する。
親子向けスポーツ教室	親子や参加者同士のスポーツ活動を通じ、次代を担う子どもたちを健全に育成するとともに、スポーツに親しみをもつきっかけづくりの機会とするため、親子で気軽に参加することができるスポーツ教室を開催する。
スポーツの日事業	子どもから高齢者まで幅広い年齢層の区民が、スポーツの楽しさを知り自らの健康の維持・増進を図るきっかけをつくるため、体育の日事業を開催する。
各種区民スポーツ大会等の開催	区民の日頃のスポーツ活動の成果を試す機会場の場として、各種区民スポーツ大会を開催する。

アウトドアスポーツ事業	親子や参加者同士の交流を深めるとともに、だれでも気軽に楽しめるスポーツ活動を推進するため、東京近郊での軽登山やノルディックウォーキングなどの自然のなかで楽しめるスポーツ事業を実施する。
シニア向けスポーツ教室	高齢者にスポーツの機会を提供するため、水泳や体操などの種目や運動など、シニア世代がスポーツを楽しむことのできる教室を実施する。
まるごと子育て応援未就学児童の遊び場開放事業	子どもが外で自由に遊ぶ場所が不足している現状をふまえ、屋外スポーツ施設（六義公園運動場及び後楽公園少年野球場）を活用し、未就学児童を対象に外遊びの機会を提供する。
スポーツ交流ひろばの充実	区立小・中学校の体育館や校庭を活用し、地域の指導員の指導のもと曜日や種目を設定し、区民の身近なスポーツ活動の場として開放する。 夏季には昭和小及び音羽中でプール一般開放を実施、その他育成会等の申請によりプール団体開放を実施する。
スポーツ推進委員会活動への支援	スポーツ推進委員への研修会の実施や委託事業等を通じて、活動への支援を実施する。

イ ユニバーサルスポーツの普及振興

これまでスポーツに関心がなかった障害者が、スポーツを楽しむきっかけづくりとなる事業の開催やスポーツ施設の利用の機会を充実します。

また、障害の有無や年齢の違いに関わらず一緒にスポーツをする機会を増やすことで、障害者のスポーツをする機会の充実を図るとともに、健常者のパラ者スポーツへの理解を育みます。

■主な事業（既存事業から抜粋）

事業名	概要
スポ・レクひろば	知的障害のある方を主な対象に各種スポーツ・レクリエーション活動を行い、楽しみながら体を動かすことを通して、仲間づくりの機会とスポーツへのきっかけづくりの場を提供する。
障害者スポーツ体験教室	障害の有無に関わらず、スポーツを楽しむ機会を確保するため、様々な障害者スポーツを「する」「見る」事業を実施する。
障害者スポーツ指導員資格取得の支援	障害者スポーツを「支える」人材を育成し、障害者スポーツの普及振興を図るため、スポーツ指導者が障害者スポーツの指導員資格を取得するための費用の助成や活動の場についてサポートを行う。
ニュースポーツ教室・大会	障害の有無や年齢に関わらず一緒に楽しむことができるニュースポーツを普及するため、ドッジビーやボッチャ等の教室や大会を実施する。

ウ スポーツ観戦の場と機会の拡充

区民や地域のスポーツ団体、大学、企業等と連携し、身近な環境でスポーツを観戦する機会をつくり、一体となってスポーツを観戦・応援する楽しさを伝えます。

プロスポーツ等団体と連携・協働し、競技スポーツの魅力を伝え、観戦機会の拡充に取り組みます。

■主な事業（既存事業から抜粋）

事業名	概要
スポーツ・パブリックビューイング	区民ひろばやシビックホールなどで、ワールドカップやオリンピック・パラリンピックなどのパブリックビューイングを開催し、皆で観戦する楽しさを共有する。
読売巨人軍との協定に基づく事業の実	読売巨人軍との協定に基づき、観戦事業のほか、選手との触れ合いの場や走り方・投げ方教室等の各種事業を展開する。
日本サッカー協会との協定に基づく事業の実	スポーツをより身近なものとするため、日本サッカー協会との協定に基づき、サッカー教室等をはじめ、各種事業を展開する。
地域のスポーツ団体等との連携による事業展開	区内に拠点を置くプロスポーツ団体・企業・大学等との協働により、各種スポーツの体験教室及びスポーツ観戦事業を実施する。

エ スポーツボランティア等の活動支援

スポーツ活動を支えるボランティア等の育成に取り組むとともに、組織間の連携促進等を進め、支える活動がしやすい環境づくりに取り組み、主体的にスポーツを支える区民を支援していきます。

■主な事業（既存事業から抜粋）

事業名	概要
障害者スポーツ指導員資格取得の支援	障害者スポーツを「支える」人材を育成し、障害者スポーツの普及振興を図るため、スポーツ指導者が障害者スポーツの指導員資格を取得するための費用の助成や活動の場についてサポートを行う。
スポーツボランティアの養成	「支えるスポーツ」の担い手として、スポーツボランティアを登録、養成、派遣する。
スポーツボランティア情報の発信	スポーツボランティア登録者が、より多くの情報に触れ、様々な活動の機会を得るため、スポーツボランティア参加イベントの募集や活動状況の報告、参加者の声等、スポーツボランティアに関する情報を広く発信する。

②いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる

環境づくり

だれもが利用しやすいと感じることができる施設整備を推進するとともに、様々な場所で日常的にスポーツに取り組めるよう、地域やコミュニティ単位でスポーツの場を充実していきます。

また、必要とする人に適切なタイミング、方法でスポーツに関する情報を提供するとともに、スポーツに親しむ人を適切にサポートできる指導者・団体の育成・技術強化に取り組み、区民のだれもが、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくりを進めます。

ア 気軽にスポーツを楽しめる環境の整備

区民のだれもが気軽に利用できる屋内・屋外施設の適正な維持・管理・運営に取り組めます。また、学校等と連携し、場所でスポーツを楽しむことができる環境の整備・活用の促進に取り組めます。

■主な事業（既存事業から抜粋）

事業名	概要
スポーツの日事業【再掲】	子どもから高齢者まで幅広い年齢層の区民が、スポーツの楽しさを知り自らの健康の維持・増進を図るきっかけをつくるため、体育の日事業を開催する。
スポーツ施設の整備と活用促進	区立スポーツ施設の快適な環境への整備をはじめ、区立学校施設等の活用による、スポーツ活動の場の整備を進めていく。
まるごと子育て応援未就学児童の遊び場開放事業【再掲】	子どもが外で自由に遊ぶ場所が不足している現状をふまえ、屋外スポーツ施設（六義公園運動場及び後楽公園少年野球場）を活用し、未就学児童を対象に外遊びの機会を提供する。
学校施設の活用	区立小・中学校の屋内運動場・格技室・教室・校庭を地域の団体等に開放する。（余裕教室の社会教育的利用、夜間管理の分離）

スポーツ交流ひろばの充実【再掲】	区立小・中学校の体育館や校庭を活用し、地域の指導員の指導のもと曜日や種目を設定し、区民の身近なスポーツ活動の場として開放する。 夏季には昭和小及び音羽中でプール一般開放を実施、その他育成会等の申請によりプール団体開放を実施する。
------------------	---

イ スポーツに関する情報の発信と相談体制の整備

より多くの区民がいつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができるよう、「区報ぶんきょう」による周知を続けるとともに、SNSやYouTube等による多様な手法をと区内での連携強化を検討し、求める人への適切な情報提供に取り組んでいきます。

また、区内大学や各種スポーツ団体等の専門機関等と連携し、区民のスポーツに関わる様々な相談に対応できる体制を一層充実していきます。

■主な事業（既存事業から抜粋）

事業名	概要
スポーツボランティア情報の発信【再掲】	スポーツボランティア登録者が、より多くの情報に触れ、様々な活動の機会を得るため、スポーツボランティア参加イベントの募集や活動状況の報告、参加者の声等、スポーツボランティアに関する情報を広く発信する。
スポーツ交流ひろば通信の発行	スポーツ交流ひろばの指導員に向け、スポーツ振興に関する情報等を発信する。
地域スポーツ情報の提供	地域スポーツを普及・振興するため、区のスポーツ事業や地域スポーツ団体についての情報を発信する。
各種メディアとの連携推進	区の魅力的なスポーツ事業等の取り組みを、報道機関等をはじめ各種メディアにリリースし、広く内外へ発信する。

ウ スポーツを楽しむ人を増やす事業の展開

スポーツに関わる団体や事業者等が連携・協働して区民の多様なニーズやライフスタイル等に応じた教室や企画を提供していくための支援を行います。団体、事業者等への支援を通して、スポーツを楽しむ区民が増やしていくための取組を推進します。

■主な事業（既存事業から抜粋）

事業名	概要
スポーツの日事業【再掲】	子どもから高齢者まで幅広い年齢層の区民が、スポーツの楽しさを知り自らの健康の維持・増進を図るきっかけをつくるため、スポーツの日事業を開催する。
地域スポーツ団体の支援・育成	各種区民大会や教室事業等の開催を委託し、自主的なスポーツ活動を行う団体を育成する。
個人利用のためのスポーツ施設の開放と指導員によるアドバイス	水泳、卓球、バドミントン、バスケットボール、バレーボール、ビーチボール、合気道、弓道、アーチェリー、柔道、剣道、ミニテニスなどの種目について、指導員を配置し、個人向けにスポーツ施設を開放する。
各種区民スポーツ大会等の開催	区民の日頃のスポーツ活動の成果を試す機会の場合として、各種区民スポーツ大会を開催する。
スポーツ指導者地域派遣	区民の自主的なスポーツ・レクリエーション活動を促進し、スポーツ・レクリエーション活動を行う団体を育成する。
スポーツ交流ひろばの充実【再掲】	区立小・中学校の体育館や校庭を活用し、地域の指導員の指導のもと曜日や種目を設定し、区民の身近なスポーツ活動の場として開放する。 夏季には昭和小及び音羽中でプール一般開放を実施、その他育成会等の申請によりプール団体開放を実施する。
スポーツ推進委員会活動への支援【再掲】	スポーツ推進委員への研修会の実施や委託事業等を通じて、活動への支援を実施する。

エ スポーツ指導者等の育成と確保、技術の強化

スポーツ推進委員、スポーツリーダー等の指導者について、若手指導者や新たな人材の確保に努めるとともに、区民の多様なニーズに対応できる人材の育成を進めます。

指導者の特性や専門性を活かし、区民の年齢や体力等の状況に、きめ細かく対応できるような体制を整えます。

■主な事業（既存事業から抜粋）

事業名	概要
スポーツ推進委員会活動への支援【再掲】	スポーツ推進委員への研修会の実施や委託事業等を通じて、活動への支援を実施する。
スポーツ推進委員・スポーツリーダー等の委嘱	スポーツ推進委員やスポーツリーダー等を委嘱する。
スポーツ指導者の育成	スポーツ指導者の資質向上を図るため、スポーツ推進委員、スポーツリーダー、スポーツ交流ひろばの指導員等を対象に各種研修会を実施する。

オ 心身の健康づくり

子どもの体力向上、高齢者への予防医療等、区民一人ひとりが目的やライフスタイルに合わせてスポーツに親しめるよう、多様な主体と連携・協働し、幅広く施策を展開していきます。

■主な事業（既存事業から抜粋）

事業名	概要
シニア向けスポーツ教室	高齢者にスポーツの機会を提供するため、水泳や体操などの種目や運動など、シニア世代がスポーツを楽しむことのできる教室を実施する。
小・中学生向けスポーツ教室	子どもたちの心身の健全な育成とジュニアスポーツの振興を図るため、スキー、ローラースポーツ等のスポーツ教室を開催する。
親子向けスポーツ教室	親子や参加者同士のスポーツ活動を通じ、次代を担う子どもたちを健全に育成するとともに、スポーツに親しみをもつきっかけづくりの機会とするため、親子で気軽に参加することができるスポーツ教室を開催する。
スポーツ交流ひろばの充実	区立小・中学校の体育館や校庭を活用し、地域の指導員の指導のもと曜日や種目を設定し、区民の身近なスポーツ活動の場として開放する。 夏季には昭和小及び音羽中でプール一般開放を実施、その他育成会等の申請によりプール団体開放を実施する。

③スポーツの力を活用した地域づくり

区民一人ひとりが心身ともに豊かな生活を送ること目指して、各種競技団体や組織と組織、地域と地域の交流・連携・協働を促進していきます。

スポーツの力を活用して地域コミュニティを醸成していくとともに、区内外の人にとって文京区が魅力的なまちだと感じることをできるよう、プロスポーツ等団体との連携・協働にも積極的に取り組んでいきます。

ア スポーツを通じた仲間づくり

スポーツの力を活用して人と人とのつながりを育み、地域のコミュニティを醸成していく取組を推進します。また、競技種目や個々の障害の有無等に関わらず多様な区民の仲間づくりにつながるスポーツのきっかけづくりに取り組んでいきます。

■主な事業（既存事業から抜粋）

事業名	概要
親子向けスポーツ教室【再掲】	親子や参加者同士のスポーツ活動を通じ、次代を担う子どもたちを健全に育成するとともに、スポーツに親しみをもつきっかけづくりの機会とするため、親子で気軽に参加することができるスポーツ教室を開催する。
アウトドアスポーツ事業	親子や参加者同士の交流を深めるとともに、だれでも気軽に楽しめるスポーツ活動を推進するため、東京近郊での軽登山やノルディックウォーキングなどの自然のなかで楽しめるスポーツ事業を実施する。
スポ・レクひろば	知的障害のある方を主な対象に各種スポーツ・レクリエーション活動を行い、楽しみながら体を動かすことを通して、仲間づくりの機会とスポーツへのきっかけづくりの場を提供する。

イ プロスポーツ等団体との連携・協力

プロスポーツ等団体と連携・協働し、区民が「見る」スポーツをきっかけにアスリートと交流することでスポーツの魅力を知り、さらに関心を持たためのきっかけを充実していきます。また、区内に拠点をもつスポーツ等団体と協働し、スポーツをきっかけにして地域への愛着を育むための取組を実施します。

■主な事業（既存事業から抜粋）

事業名	概要
スポーツ・パブリックビューイング【再掲】	区民ひろばやシビックホールなどで、ワールドカップやオリンピック・パラリンピックなどのパブリックビューイングを開催し、皆で観戦する楽しさを共有する。
読売巨人軍との協定に基づく事業の実【再掲】	読売巨人軍との協定に基づき、観戦事業のほか、選手との触れ合いの場や走り方・投げ方教室等の各種事業を展開する。
日本サッカー協会との協定に基づく事業の実施【再掲】	スポーツをより身近なものとするため、日本サッカー協会との協定に基づき、サッカー教室等をはじめ、各種事業を展開する。
地域のスポーツ団体等との連携による事業展開【再掲】	区内に拠点を置くプロスポーツ団体・企業・大学等との協働により、各種スポーツの体験教室及びスポーツ観戦事業を実施する。

ウ レガシーの継承と活用

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会等の国際大会を通じて醸成されたスポーツの気運、ボランティア精神や国際理解の促進といった大会レガシーを継承するとともに、本計画の理念の実現に向け活用していきます。

■主な事業（既存事業から抜粋）

事業名	概要
カイザースラウテルン市長杯文京区少年サッカー大会	姉妹都市提携のカイザースラウテルン市（ドイツ）が 2006 年のワールドカップドイツ大会で開催都市となったことを記念し、少年サッカー大会を実施している。
障害者スポーツ体験教室	障害の有無に関わらず、スポーツを楽しむ機会を確保するため、様々な障害者スポーツを「する」「見る」事業を実施する。
障害者スポーツ指導員資格取得の支援	障害者スポーツを「支える」人材を育成し、障害者スポーツの普及振興を図るため、スポーツ指導者が障害者スポーツの指導員資格を取得するための費用の助成や活動の場についてサポートを行う。
ニュースポーツ教室・大会	障害の有無や年齢に関わらず一緒に楽しむことができるニュースポーツを普及するため、ドッジビーやボッチャ等の教室や大会を実施する。

エ 人材・組織（町会・地域クラブ）との連携・協働

地域の団体等の多様な主体による連携・協働をもとに、地域スポーツ情報の展開や支えるスポーツの場や機会の拡充、学校施設活用などを通して区民がスポーツに親しむきっかけを充実していきます。

■主な事業（既存事業から抜粋）

事業名	概要
地域スポーツ団体の支援・育成【再掲】	各種区民大会や教室事業等の開催を委託し、自主的なスポーツ活動を行う団体を育成する。
スポーツ指導者地域派遣【再掲】	区民の自主的なスポーツ・レクリエーション活動を促進し、スポーツ・レクリエーション活動を行う団体を育成する。
地域スポーツ情報の提供【再掲】	地域スポーツを普及・振興するため、区のスポーツ事業や地域スポーツ団体についての情報を発信する。
東京2020大会 気運醸成イベント【再掲】	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、カウントダウンイベント、シンポジウムや講演会、区民が参加できる体験イベントや企画展などを開催し、大会への気運醸成及び競技等への理解促進を図る。

オ スポーツの魅力を体感する機会の充実

本区の多様なスポーツ資源を活かして、スポーツの魅力を体感する機会を充実していきます。スポーツの魅力を体感することで、区民一人ひとりの生活がより健康で豊かなものとなることを目指して取組を推進していきます。

■主な事業（既存事業から抜粋）

事業名	概要
初心者向けスポーツ教室【再掲】	区民が気軽にスポーツを体験できる各種初心者向けスポーツ教室を開催する。
小・中学生向けスポーツ教室【再掲】	子どもたちの心身の健全な育成とジュニアスポーツの振興を図るため、スキー、ローラースポーツ等のスポーツ教室を開催する。

東京 2020 大会 気運醸成イベント 【再掲】	東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、カウントダウンイベント、シンポジウムや講演会、区民が参加できる体験イベントや企画展などを開催し、大会への気運醸成及び競技等への理解促進を図る。
-----------------------------	--